

# まん延防止等重点措置実施中！ 新型コロナウイルス感染症

令和3年9月8日  
富山県感染症情報センター  
(0766-56-5431 直通)

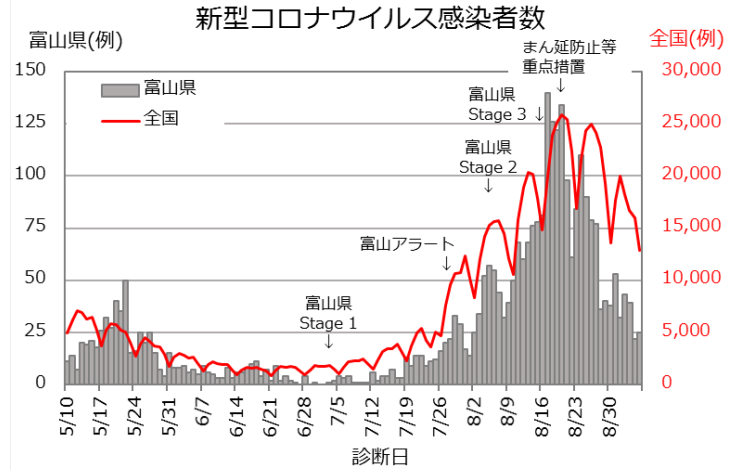
## 感染症発生動向速報

(令和3年第35週分・8月30日～9月5日)

### 《インフォメーション》

#### ●新型コロナウイルス感染症

国内の新型コロナウイルス感染者数は、9月5日時点で1,571,372例となり、16,354例の死亡が確認されています。全国の新規感染者数(図;折れ線グラフ)は、8月下旬をピークに減少傾向になりました。しかしながら首都圏等では医療提供体制のひっばく状態が続いているため、9月12日を期限に実施されている緊急事態宣言(21都道府県)、まん延防止等重点措置(富山県を含む12県)の期間延長について検討されています。



県内の今週の新規感染者数は252例報告され(図;棒グラフ)、9月5日時点の累積感染者数は4,590例になりました。県内での感染者数は全国と同様、第33週(8月16日～22日)をピークに減少傾向になりました。しかし、未だ医療機関の入院者数は多く、重症病床稼働率も高い状況です。また、県内での市中感染は現在も継続していると考えられます。これまで通りの基本的な感染対策を行いつつ、県内全域で昼夜を問わず、不要不急の外出や移動を控えることが求められます。

衛生研究所で実施する、感染性が高いデルタ株を検出するためのL452R変異検査は、今週、125件中124件(99.2%)が陽性となりました。8月中旬以降、ほぼすべての感染例がデルタ株によると考えられます。

現在、県内各市町村における若い世代への新型コロナウイルスワクチン接種が進んでいます。ワクチン接種による発症予防や重症化予防効果が報告されています。一方、2回ワクチン接種後のブレークスルー感染も報告されています。ワクチン接種後であっても感染対策の継続が必要です。

発熱等の症状で医療機関を受診する際には、電話相談のうえ、かかりつけ医等の指示に従ってください。相談する医療機関に迷う場合は、受診・相談センター(076-444-4691;24時間対応)にご連絡ください。

### 《全数報告の感染症》

- 新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症 252件
- 二類感染症 結核 5件 (①40歳代、男性 ②50歳代、男性 ③70歳代、女性  
④80歳代、女性 ⑤90歳代、女性)
- 五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1件 (70歳代、女性)  
侵襲性肺炎球菌感染症 1件 (80歳代、男性)

### 《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	2.14 (↑)	1.17
2位	RSウイルス感染症	0.59 (↓)	1.07
3位	突発性発しん	0.31 (↑)	0.28
4位	水痘	0.28 (↓)	0.31
5位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.21 (→)	0.21
6位	マイコプラズマ肺炎	0.20 (↑)	0.00

○感染症発生動向調査報告状況（令和3年第35週 令和3年8月30日～令和3年9月5日）

分類	疾患	今週報告分（第35週）						累積報告数（令和3年第1週（1月4日）～）							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※1	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※1	計
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	23	10	61	10	144	4	252	357	268	1,026	267	2,000	92	4,010
二類感染症	結核			1		4		5	10	6	26	11	37		90
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症									1	6	1	4		12
四類感染症	E型肝炎								3				1		4
	A型肝炎								1						1
	つつが虫病								1						1
	レジオネラ症								1	3	12	1	7		24
五類感染症	アメーバ赤痢								1						1
	ウイルス性肝炎								2				1		3
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症					1		1			2	2	4		8
	急性脳炎										1		1		2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症										3	1	2		6
	後天性免疫不全症候群								1				2	1	4
	侵襲性インフルエンザ菌感染症										1	1	1		3
	侵襲性肺炎球菌感染症					1		1	1		2		11		14
	水痘（入院例）												1		1
	梅毒								1	1	4		17		23
	播種性クリプトコックス症												2		2
	破傷風											1			1
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ										5			
RSウイルス感染症		1		4	11	1		17	130	125	1,574	387	815		3,031
		0.25		0.50	2.75	0.10		0.59							
咽頭結膜熱		2		1				3	37	38	133	7	141		356
		0.50		0.13				0.10							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	1	1		3		6	63	38	439	82	219		841
		0.25	0.33	0.13		0.30		0.21							
感染性胃腸炎		24	12	14	2	10		62	616	329	516	182	1,144		2,787
		6.00	4.00	1.75	0.50	1.00		2.14							
水痘			3			5		8	1	11	27	13	45		97
			1.00			0.50		0.28							
手足口病				1		2		3	7		14	2	14		37
				0.13		0.20		0.10							
伝染性紅斑									1	1	9	1	19		31
突発性発しん		1	1	2		5		9	46	30	116	45	109		346
		0.25	0.33	0.25		0.50		0.31							
ヘルパンギーナ			4					4	25	8	80	3	15		131
		1.33					0.14								
流行性耳下腺炎			1	1			2	2	2	9	6	12		31	
			0.13	0.25			0.07								
流行性角結膜炎								2	1					3	
細菌性髄膜炎												2		2	
無菌性髄膜炎												2		2	
マイコプラズマ肺炎			1				1		1	8	1			10	
			1.00				0.20								
感染性胃腸炎（ロタウイルス）								1						1	
インフルエンザによる入院患者（※2）					1		1			1	9			10	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じる場合があります。 ※1 その他は県外、居住地非公表分です。 ※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和2年第36週（8月31日）～の集計です。